

News Release

2014年6月19日

株式会社 日立ソリューションズ東日本

プロジェクト管理統合プラットフォーム「SynViz S2」、 計画の変更管理機能を強化し、管理と周知にかかる作業負荷を大幅に削減 —関係者の効率的な情報共有により、全員参加型のマネジメントを実現—

株式会社 日立ソリューションズ東日本(本社:宮城県仙台市 取締役社長:八田 直久)は、工程の一元管理および基幹システムや表計算ソフトなどのデータ連携が可能な「プロジェクト管理統合プラットフォーム SynViz S2 (シンビズエスツー)」に、主に計画の変更管理機能を強化した最新バージョン「SynViz S2 Ver.1.3」の提供を開始しました。

製品の設計・開発やシステム開発などのプロジェクトにおいては、「プロジェクト全体の進捗やスケジュール変更および問題点をステークホルダーと共有し、いかに適切に状況に応じたコントロールをするか」が重要です。プロジェクトが大規模化すればする程、管理すべき工程や成果物が膨大となりコントロールが難しくなります。

SynViz S2 は、膨大な工程表や関連する成果物を Web 環境で一元管理を可能とし、納期遅延やコスト増加などを未然に防ぐことができます。当社の自動車業界をはじめとする製造業の設計・開発プロジェクトや、企業における情報システム開発プロジェクト等での豊富な導入実績をベースに、業務の共通基盤として開発しました。

今回の Ver.1.3 では、プロジェクト完了に最も影響を与える一連のアクティビティ(クリティカルパス)を識別する機能のほか、計画の変更管理機能を強化し、計画の変更箇所の把握と、計画確定時の周知にかかる作業負荷の大幅な削減を実現しました。

SynViz S2 Ver.1.3 の主な機能向上は以下のとおりです。

■SynViz S2 Ver.1.3 の主な機能向上について

(1)前回計画と見直し後計画の変更箇所を把握できるようになりました。

計画の見直しが頻繁に発生するプロジェクトでは、「変更箇所の把握と関係者への周知に手間がかかり本来業務に注力できない」場合がありますが、今回のバージョンアップでは、前回計画と見直し後計画を同一画面に並べて表示するだけでなく、変更箇所を強調表示することで、ビジュアルにひと目で把握することが可能になりました。これにより、計画の変更箇所の把握にかかる作業負荷を大幅に軽減します。(特願 2011-252971)

(2)重点監視すべき工程をひと目で識別できるようになりました。

プロジェクト管理では、プロジェクトを最短で完了するための一連のアクティビティ(クリティカルパス)への影響を考慮したスケジュール管理が一般的です。今回のバージョンアップでは、クリティカルパスの識別に加え、関連線で接続されたアクティビティの「余裕日数(前工程との間隔日数)」を一覧で確認できるようになりました。これにより、プロジェクト遅延リスクの高い工程を効率的に監視できるようになりました。

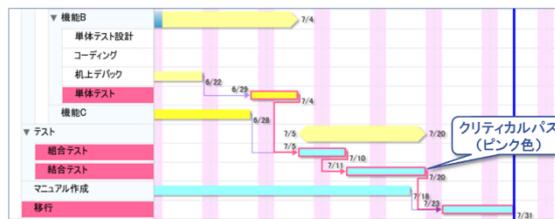


図 1.クリティカルパスが表示されたガントチャート

(3)計画の確定状態を作れるようになりました。

複数の部門や組織が関係するプロジェクトでは、複数関係者で計画を調整・確定した上で、プロジェクトが開始します。今回のバージョンアップにより、プロジェクトメンバーへ計画確定のメール通知を行えることに加え、計画変更できないように制御できます。

また、作業担当者の進捗が計画と乖離しそうな場合には、最新の作業予定を「見込み日程」として入力することで計画との乖離度合いをタイムリーに把握することができます。

SynViz S2 は、今後もお客様のニーズにお応えし、『機能拡充』『ユーザビリティの向上』『多言語対応』など、設計・開発プロセスにおける工程管理に有用な機能のエンハンスを図ってまいります。

■SynViz S2 について

SynViz S2 は、工程表の自動展開、編集、成果物登録など、工程管理機能の実装だけではなく、業務のポータル画面としてプロジェクトの運営に関連したデータの統合管理を実現します。また、Web 環境での機能・操作性を一層高めたほか、コストや生産性などのプロジェクト管理指標の統合管理、API の充実による容易なアドオン開発、既存システムや表計算データとの連携を可能にしています。これにより、データの二重入力の負荷軽減に加え、複数の工程管理ツールとも連携するなど、現場の実情に合わせた柔軟な運用を実現します。

http://www.hitachi-solutions-east.co.jp/products/synviz_s2/

■SynViz ハンズオンセミナー(関東地区)開催のご案内

事例紹介と共に製品の操作性や利用方法を、実際にデモ機を使用しながら体験いただくハンズオンセミナーを定期的に開催しています。ハンズオンセミナーの詳細につきましては、当社 Web サイトをご覧ください。

<http://www.hitachi-solutions-east.co.jp/seminar/hands/synviz/index.html>

■展示会出展のご案内

2014年6月25日(水)～27日(金)、東京ビッグサイトで開催の「第25回 設計・製造ソリューション展(DMS TOKYO 2014)」において、SynViz S2をはじめ、成果物管理システム「SynViz/DM」、テキストマイニングシステム「CoreExplorer」、情報共有サービス「OnSchedule」 on TWX-21 を展示します。詳細は、当社Webサイトをご覧ください。

<http://www.hitachi-solutions-east.co.jp/seminar/event/dms2014/>

■関連リンク

- ・日立ソリューションズ東日本 コーポレートサイト:<http://www.hitachi-solutions-east.co.jp/>
- ・セミナー・イベント情報:<http://www.hitachi-solutions-east.co.jp/seminar/>
- ・ニュースリリース:<http://www.hitachi-solutions-east.co.jp/newsrelease/>

■製品に関するお問合せ

株式会社 日立ソリューションズ東日本 営業本部 [担当:鈴木、目黒]

〒210-0007 川崎市川崎区駅前本町12-1

電話:044-210-1906(ダイヤルイン) E-Mail:hse-info@hitachi-solutions.com

■報道機関お問い合わせ先

株式会社 日立ソリューションズ東日本 事業企画開発本部 [広報担当:小野]

〒980-0014 仙台市青葉区本町2-16-10

電話:022-266-2170(ダイヤルイン) E-Mail:hse-info@hitachi-solutions.com